平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場会社名　株式会社 サンエー化研　　上場取引所　大
コード番号　4234　URL　http://www.sun-a-kaken.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 藤岡　宣隆
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長　(氏名) 藤岡　貞章　TEL 03-3241-5702

四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日　配当支払開始予定日　平成23年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	16,614	△7.2	221	△67.9	261	△64.4	138	△62.3
23年3月期第2四半期	17,912	9.2	691	233.5	733	181.5	367	147.0

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　118百万円　(△48.8%)　23年3月期第2四半期　230百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	12.62	—
23年3月期第2四半期	33.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	31,314	15,224	48.2
23年3月期	31,236	15,180	48.2

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　15,095百万円　23年3月期　15,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
24年3月期	—	7.00			
24年3月期(予想)			—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,800	6.6	690	34.5	750	19.5	450	45.7	41.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	11,320,000 株	23年3月期	11,320,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	348,124 株	23年3月期	348,053 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	10,971,907 株	23年3月期2Q	10,972,017 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを完了していますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における世界経済は、米国の個人消費の低迷、欧州の財政危機の再燃、及び新興国の成長鈍化など、景気減速感が顕著になってまいりました。

我が国経済においても、東日本大震災と原発事故の影響による生産活動の停滞に加え、歴史的水準の円高などの影響で、景気はそれまでの回復基調から足踏み状態へと移行しました。

そのような状況の下で、当社グループでは、製品開発・拡販の推進や生産合理化の徹底に努めてまいりましたが、機能性材料の売上不振や原材料価格の高止まりなどが響き、当第２四半期連結累計期間の業績は、厳しい結果となりました。

セグメント別の状況につきましては、次のとおりであります。

軽包装材料につきましては、東日本大震災以降、食料備蓄に対するニーズの高まりや内食の機会が増えたことなどにより、食品包装の売上は堅調に推移しました。中でも、電子レンジ対応食品包材「レンジＤo!」は、利便性の良さと品質安定性が評価され、売上が増加しました。また、エアー緩衝材「エアロテクト」は、震災発生後、一時的に受注が減少したものの、ほどなく以前の受注水準まで回復し、震災の影響は限定的なものに留まりました。その結果、軽包装材料の売上高は、前年同期並みの水準を確保することができました。

産業資材につきましては、東日本大震災の支援・復興のための物資の流通が活発化したこともあり、包装・梱包用の樹脂クロス、布ポリラムなどの製品が大幅な増収となりました。また、スマートフォンやタブレット端末などの普及に伴い、ＦＰＣ用工程紙「アドテラ」も順調に売上を伸ばすことができました。一方、従来品のセパレーターは、需要の低迷や安価な海外品の流入などにより、売上が減少しました。その結果、産業資材の売上高は、前年同期並みの水準に留まりました。

機能性材料につきましては、地デジへの移行完了に伴う液晶パネル需要の急減、東日本大震災に伴う生産活動の停滞、世界的な景気減速傾向の強まりなどが影響し、保護フィルムの売上は低い水準で推移しました。一方、タッチパネル用芯なし両面テープ「ＳＡＮＣＵＡＲＹ」は、スマートフォンやタブレット端末などの普及に伴い、売上を伸ばしましたが、保護フィルムの減収分をカバーすることはできませんでした。その結果、機能性材料の売上高は、前年同期の水準を下回ることとなりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高16,614百万円（前年同期比7.2%減）、経常利益261百万円（前年同期比64.4%減）、四半期純利益138百万円（前年同期比62.3%減）となりました。

なお、セグメント別の売上高は、下記のとおりであります。

セグメント別	売上高	構成比	前年同期比
軽包装材料	7,805百万円	47.0%	0.7%増
産業資材	3,897百万円	23.5%	1.0%増
機能性材料	4,659百万円	28.0%	22.6%減
その他	252百万円	1.5%	10.0%減
合計	16,614百万円	100.0%	7.2%減

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①　資産、負債及び純資産の状況

（資産）

前連結会計年度末と比べて78百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加442百万円や、たな卸資産の増加551百万円等の増加要因がありましたが、現金及び預金の減少513百万円や、減価償却による有形固定資産の減少362百万円等の減少要因に相殺されたためであります。

（負債）

前連結会計年度末と比べて34百万円増加いたしました。主な要因は支払手形及び買掛金の増加501百万円や、短期借入金の増加100百万円等の増加要因がありましたが、長期借入金の減少367百万円（流動負債「その他」に含めている「１年内返済予定長期借入金」の減少を含む。）や、役員退職慰労引当金の減少126百万円等の減少要因に相殺されたためであります。

（純資産）

前連結会計年度末に比べて44百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が61百万円増加したことと、株式の時価が下落したことにより、その他有価証券評価差額金が24百万円減少したためであります。

②　キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ513百万円減少し4,048百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は52百万円（前年同期は628百万円の獲得）となりました。これは税金等調整前四半期純利益255百万円、仕入債務の増加額479百万円、減価償却費505百万円等の増加要因がありましたが、売上債権の増加額442百万円、たな卸資産の増加額551百万円等の減少要因に相殺されたためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は71百万円（前年同期は170百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出72百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は389百万円（前年同期は745百万円の使用）となりました。これは主に長期借入金を400百万円借入れましたが、長期借入金を767百万円返済したためであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成23年５月18日の決算発表時に公表いたしました内容と変更はありません。なお、連結業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,562,302	4,048,773
受取手形及び売掛金	11,195,939	11,638,066
有価証券	20,740	－
商品及び製品	1,672,471	1,861,975
仕掛品	1,454,141	1,674,738
原材料及び貯蔵品	930,999	1,072,252
その他	317,628	304,801
貸倒引当金	△102,182	△106,310
流動資産合計	20,052,040	20,494,296
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,211,785	3,110,108
機械装置及び運搬具（純額）	1,966,445	1,687,643
土地	2,056,577	2,056,577
その他（純額）	351,558	369,603
有形固定資産合計	7,586,365	7,223,933
無形固定資産	51,299	38,494
投資その他の資産		
投資有価証券	2,662,380	2,636,898
その他	885,130	922,308
貸倒引当金	△1,149	△1,148
投資その他の資産合計	3,546,361	3,558,058
固定資産合計	11,184,026	10,820,486
資産合計	31,236,067	31,314,782

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成23年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,052,125	7,554,075
短期借入金	3,703,000	3,803,000
未払法人税等	39,286	48,541
賞与引当金	506,220	455,727
役員賞与引当金	13,050	6,150
その他	1,989,330	1,833,310
流動負債合計	13,303,013	13,700,804
固定負債		
社債	160,000	30,000
長期借入金	1,301,961	1,249,215
退職給付引当金	732,727	709,294
役員退職慰労引当金	220,097	93,434
資産除去債務	95,788	96,390
その他	242,012	211,105
固定負債合計	2,752,587	2,389,439
負債合計	16,055,600	16,090,244
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,176,000	2,176,000
資本剰余金	2,135,839	2,135,839
利益剰余金	10,506,637	10,568,317
自己株式	△116,912	△116,939
株主資本合計	14,701,564	14,763,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	356,692	331,852
その他の包括利益累計額合計	356,692	331,852
新株予約権	3,139	7,849
少数株主持分	119,070	121,618
純資産合計	15,180,467	15,224,538
負債純資産合計	31,236,067	31,314,782

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	17,912,915	16,614,696
売上原価	15,628,812	14,860,491
売上総利益	2,284,103	1,754,205
販売費及び一般管理費	1,592,458	1,532,396
営業利益	691,644	221,808
営業外収益		
受取利息	686	256
受取配当金	34,214	39,367
作業くず売却益	33,061	31,596
その他	34,227	33,685
営業外収益合計	102,189	104,905
営業外費用		
支払利息	57,010	39,618
その他	3,154	25,818
営業外費用合計	60,165	65,436
経常利益	733,669	261,277
特別利益		
会員権売却益	－	1,171
貸倒引当金戻入額	18,336	－
特別利益合計	18,336	1,171
特別損失		
固定資産売却損	921	－
固定資産除却損	16,456	4,125
投資有価証券売却損	－	2,445
会員権売却損	－	323
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	60,270	－
特別損失合計	77,649	6,893
税金等調整前四半期純利益	674,356	255,554
法人税、住民税及び事業税	33,798	43,442
法人税等調整額	270,764	69,045
法人税等合計	304,562	112,487
少数株主損益調整前四半期純利益	369,793	143,067
少数株主利益	2,715	4,582
四半期純利益	367,077	138,484

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	369,793	143,067
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△138,987	△24,874
その他の包括利益合計	△138,987	△24,874
四半期包括利益	230,805	118,192
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	228,230	113,644
少数株主に係る四半期包括利益	2,574	4,548

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	674,356	255,554
減価償却費	608,296	505,970
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△37,309	△23,433
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	12,804	△126,663
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△371,876	4,126
受取利息及び受取配当金	△34,900	△39,623
支払利息	57,010	39,618
投資有価証券売却損益（△は益）	－	2,445
固定資産除却損	16,456	4,125
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	60,270	－
売上債権の増減額（△は増加）	△466,723	△442,446
たな卸資産の増減額（△は増加）	△52,273	△551,351
仕入債務の増減額（△は減少）	246,713	479,973
未払消費税等の増減額（△は減少）	11,211	△17,521
その他	△6,626	△93,903
小計	717,410	△3,128
利息及び配当金の受取額	34,916	39,627
利息の支払額	△57,632	△41,377
法人税等の支払額	△66,677	△47,187
営業活動によるキャッシュ・フロー	628,016	△52,066
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△109,751	△72,448
有形固定資産の売却による収入	47	－
投資有価証券の取得による支出	△51,502	△18,515
投資有価証券の売却による収入	－	19,610
貸付けによる支出	△13,190	△1,860
貸付金の回収による収入	4,882	3,522
その他	△740	△2,079
投資活動によるキャッシュ・フロー	△170,254	△71,771
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	100,000
長期借入れによる収入	120,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△612,300	△767,600
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
配当金の支払額	△76,844	△76,886
少数株主への配当金の支払額	△1,200	△2,000
リース債務の返済による支出	△165,436	△33,178
その他	△41	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△745,822	△389,692
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△288,059	△513,529
現金及び現金同等物の期首残高	4,904,987	4,562,302
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,616,927	4,048,773

（4）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（5）セグメント情報等
Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年９月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	7,753,536	3,857,529	6,021,778	17,632,843	280,072	17,912,915
セグメント利益	337,662	103,352	230,888	671,902	19,742	691,644

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。
２．セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	7,805,037	3,897,983	4,659,535	16,362,556	252,139	16,614,696
セグメント利益（△は損失）	394,151	115,876	△319,440	190,587	31,221	221,808

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。
２．セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。